

EUSI メールマガジン Vol. 041 「グローバル人材の育成と「高大連携」」(林秀毅)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 026】

「グローバル人材の育成と「高大連携」」

林秀毅 (一橋大学国際公共政策大学院客員教授・EUSI 主任研究員)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo) は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムとして、EUに関する教育・研究・広報を行う拠点である。そこでは本来、教育面の対象は大学生と大学院生である。しかし、EUSI が支援を受けている駐日欧州連合代表部は、より若い高校生の世代から、EUについてより理解を深めてほしいという意向を強めている。そこでEUSIでは2013年度から、高校を訪問しEUの意義と活動内容を紹介する取り組みを開始した。

特にEUSIでは「二つの差別化」を意識してこの高校訪問プロジェクトを立ち上げた。第一に、駐日欧州連合代表部自身が、毎年5月の「日・EUフレンドシップウィーク」におけるプログラムの一部として実施している出張授業「EUがあなたの学校にやってくる」がある。駐日EU代表部によれば、これは在日EU加盟国大使館と同代表部の大使および外交官が、全国各地の高等学校でEUや自国についての講演を行うもので、7年目となる2013年は約90校、のべ4万9千人の生徒が参加した。このように本プロジェクトは、多数の生徒を対象にEUに関する基礎的な理解を深めることを目的としている。

第二に、神戸大学を中心としたコンソーシアムであるEUIJ 関西が、先行して行ってきた高校訪問プロジェクトがある。これは関西地区の主要高校を訪問し、一学校毎に個別のテーマを講演するものであるが、やはり比較的多数の生徒を対象にしていた。

EUSIでは以上の先行例に学びつつ、これとは異なる形でプロジェクトを進めた。即ち、各学校内の希望者から構成された20名から40名程度という比較的小数のグループを対象に、通訳なしの英語のみで、政治・経済・社会の各分野で比較的突っ込んだ内容の議論を行い、且つ双方向の質疑応答を重視するというものである。

このような進め方が可能となった条件として、第一にEUSIが首都圏に位置し、生徒がEUに関心を持ち英語力の水準も高い学校があること、第二にEUSIが政治・経済など社会科学の分野に特化し深めるという特長を生かし、その研究成果を、高校生向けの教育にも活用したことが挙げられる。

具体的な進め方としては・・・

・・・

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol26.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. 国際経済シンポジウム「EU-Japan, New Strategic Partnership for Future」

日時: 2014年2月27日(木) 18:30-20:15

場所: 如水会館 スターホール (東京都千代田区一ツ橋2丁目1-1)

基調講演:

アルブレヒト・ロタハー (EU Delegation to Japan, Counsellor)

嘉治佐保子 (慶應義塾大学経済学部教授)

ジェスパー・エドマン (一橋大学大学院国際企業戦略研究科准教授)

パネルディスカッション・モデレーター:

林秀毅 (EUSI 事務局長、一橋大学国際・公共政策大学院客員教授)

開会挨拶: ベルナル・ラマナンス (HEC Paris 学長)、山内進 (一橋大学学長)

閉会挨拶: ミッシェル・ロワ (クレディ・アグリコル銀行在日代表)

主催: EUSI、HEC Paris、クレディ・アグリコル銀行

後援: 一橋大学 ICS、EBC

言語: 日英同時通訳

申込: 以下、EUSI HP をご参照ください

http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20140227eu_japan_spa.html

2. 国際セミナー「日 EU 協力の未来像 安全保障と経済分野を中心に」

日時: 2014年2月28日(金) 14:00-16:00

場所: 早稲田大学 26号館地下1階多目的室(104号室)

「パワーバランスが変化する国際社会における日欧の安全保障協力の可能性」

パネリスト:

エバ・ペソバ (欧州連合安全保障研究所プログラムアソシエート)

マシュー・ウィリス (英王立統合防衛・安全保障研究所(RUSI)研究員)

アリス・エクマン (仏国際関係研究所(IFRI)研究員)

ヤンカ・エルテル (独ケルバー財団ベルリン事務所プログラムマネージャー)

マシュー・ドウシャテル (SIPRI 中国・グローバル安全保障プロジェクト長)

「世界の経済成長に資する日欧の経済政策の推進に向けた英知と経験の共有」

モデレーター: 林秀毅 (EUSI 主任研究員)

パネリスト:

マリオ・マニエッロ (ブリューゲル欧州世界経済研究所研究員)

リチャード・ハリス (リフォーム副代表)

セドリック・オーデニス (仏国立統計経済研究所短期経済分析部部長)

オスカル・アルセ (スペイン中央銀行マクロ経済分析・予測課長)

主催: EUIJ 早稲田

言語: 英語

<http://www.euij-waseda.jp/whatsnew/post-72.html>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (EUSI 執行委員・一橋大学大学院法学研究科教授)

「先決裁定付託受理の許容性判断と EU 基本権憲章」

【EU 法における先決裁定手続に関する研究 (4)】

『自治研究』第 90 巻第 3 号(2014 年 3 月)86-96 頁

【EU に関するニュース】

- 2014 年 2 月 1 日 アシュトン EU 上級代表、中国政府の人権活動家や親族への裁判・拘禁などの人権侵害を憂慮
- 2014 年 2 月 2 日 アシュトン EU 上級代表、EU と米国でウクライナに対する短期金融支援計画を策定中と表明
- 2014 年 2 月 3 日 欧州委員会、反汚職報告書を発表。EU 域内の汚職による損失は年間 1200 億ユーロ、深刻さ強調
- 2014 年 2 月 3 日 Eurostat、2013 年第 3 四半期の財政赤字はユーロ圏 17 カ国で対 GDP 比 3.1%。3 四半期連続で減少
- 2014 年 2 月 4 日 ミャンマー政府投資企業管理局、同国と EU 間の投資保護協定を年内締結との見通し表明
- 2014 年 2 月 4-5 日 駐日 EU 代表部、EU 内の環境・エネルギー関連企業 40 社の展示商談会を東京で開催
- 2014 年 2 月 5 日 アシュトン EU 上級代表、ウクライナの政治情勢不安や経済支援問題に関する声明
- 2014 年 2 月 5 日 欧州委員会、Google 社検索広告や検索結果に関し競合 3 社のサービスも同等に表示するよう提示
- 2014 年 2 月 5 日 Eurostat、前年 12 月小売売上高は、ユーロ圏 17 カ国で前月比-1.6%、EU28 カ国で同-0.8%
- 2014 年 2 月 6 日 ECB 理事会、主要政策金利を 0.25%に据置き決定、ユーロ圏経済へのリスクは依然下向きと評価
- 2014 年 2 月 6 日 欧州議会、昨年の EU 財務理事会の破綻処理制度合意は複雑で時間を要すと批判、早期協議要請
- 2014 年 2 月 6 日 アシュトン EU 上級代表、イスラエルの東エルサレムなど 558 戸の入植計画に強い憂慮の声明
- 2014 年 2 月 6 日 ノーランド米国務次官補、EU を非難する電話の会話が Youtube 上で公開された件で、EU 側に謝罪
- 2014 年 2 月 7 日 ECB、銀行監督規制草案発表。買収容認や資本積増命令や銀行業務許認可など幅広い権限を規定
- 2014 年 2 月 7 日 独憲法裁、ECB による無制限国債購入計画(OMT)は EU 条約違反の可能性、最終判断を ECJ に付託
- 2014 年 2 月 9 日 欧州委員会、移民の量的制限導入に関するスイス国民投票が可決されたことに遺憾の声明
- 2014 年 2 月 10 日 EU 外務理事会、ウクライナ情勢・キューバとの政治対話・中央アフリカ治安部隊派遣など協議
- 2014 年 2 月 10 日 ヌイ ECB 単一監督制度(SSM)委員長、銀行資産査定の信頼性の観点から一部銀行を落第視の意向
- 2014 年 2 月 10 日 欧州サイバー犯罪センター(EC3)報告書、ハイテク犯罪・児童ポルノ等成果と今後の脅威指摘
- 2014 年 2 月 10-12 日 オランダ仏大統領訪米。米仏首脳会談で、EU・米間の TTIP 交渉の迅速化が重要と強調
- 2014 年 2 月 11 日 EU、キプロスのギリシャ系・トルコ系指導者双方の共同声明と交渉再開合意に祝意の声明
- 2014 年 2 月 11 日 アシュトン EU 上級代表、中台公式閣僚級会談が南京で開催されたことに対して歓迎声明
- 2014 年 2 月 11-12 日 EU・ASEAN 航空サミット、航空輸送全面的協定交渉促進や協力強化を謳った共同声明発表
- 2014 年 2 月 12 日 Eurostat、前年 12 月鉱工業生産は、ユーロ圏 17 カ国・EU28 カ国で共に前月比-0.7%
- 2014 年 2 月 13 日 ダイセルブルーム・ユーログループ議長、ECB 実施の資産査定結果が悪い銀行は閉鎖を容認
- 2014 年 2 月 14 日 バロゾ委員長、レッタ伊内閣総辞職への留意と同国の財政改革の期待に関する声明
- 2014 年 2 月 14 日 Eurostat、2013 年第 4 四半期実質 GDP は、ユーロ圏 17 カ国で前期比+0.3%、EU28 カ国で+0.4%

2014年2月14日 Eurostat、前年12月貿易収支は、ユーロ圏で139億ユーロ黒字、EU28カ国で82億ユーロ黒字

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、私自身が担当した高校訪問プロジェクトについて寄稿しました。

高校を訪問し説明を始める際に、私は、中学・高校時代に英語と世界史の恩師に出会い、そのことが現在の仕事につながっている可能性がある、という自分の経験を語ることがあります。

高校訪問に参加した高校生にとって、同じようなきっかけとなれば、これに勝つことはありません。同時に、各人の生き方を大きく変えるかもしれない、教育の持つ意味の重さを感じます。

今、高校の教室で出会った、多くの明るい笑顔や活発な発言を思い出しながら、そんなことを考えています。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

先週まで世界の耳目は、ヨーロッパの近隣地域にある二つの場所、すなわちソチとウクライナの二つに集まっていたといっても過言ではないでしょう。ソチ五輪では、雪不足やテロ情報などの不安がささやかれていた中で、無事17日間の大会を終えました。

欧州勢はウィンタースポーツが非常に強く、スケートではオランダ、ルージュではドイツ、アルペンスキーではオーストリア、クロスカンントリーではノルウェーやスウェーデンと、どこでもお国柄も出ているような感じがします。そのような平和の祭典から飛行機でわずか1時間半しか離れていない隣のウクライナでは、昨年秋から続いていたヤヌコビッチ政権と反政府デモとの対立が頂点に達し、政権はついに追放され、ティモシェンコ元首相は釈放、5月には大統領選挙を実施する方向など、依然として緊迫した政治情勢が続いています。ウクライナ問題は、EU かロシアかという問題だけではなく、国内の地域的なアイデンティティの違いやエネルギー資源や経済の問題など、様々な争点を複合的に抱えており、今後も安定した秩序を作り上げるまでには紆余曲折が予想されると思います。

EUにとって近隣地域の安定は極めて重要な問題とされており、ウクライナ情勢に対してEUがどのようにコミットしてゆくのか、今後も目が離せない展開が続いてゆくことになるでしょう。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
